

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構

2022年度 第2回臨時理事会議事録

日 時 2023年1月18日(水) 10:30～11:15  
場 所 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構(オンラインにて開催)  
理事総数 13名  
出席者 理事 浅川伸、泉正文、伊東卓、沖野眞己、小幡(成瀬)純子、  
(全員オンラインで出席) 高杉重夫、竹下啓介、田口亜希、藤原正樹、八木由里、山本和彦  
(11名)  
監事 川原貴、辻居幸一  
事務局 高杉重夫、小川和茂、竹内映  
欠席者 佐藤(塩口)直子、玉川敏彦  
議事録作成者 高杉重夫(事務局長)

2022年度第2回臨時理事会は、定款第40条第1項及び第41条に基づき2022年12月23日に電磁的方法をもって招集された。山本代表理事より、定款42条第1項の規定に従い、議決に加わることのできる理事13名中11名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨及び出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意思表示ができることを確認した。

**【議決事項】第1号：スポーツ仲裁・調停等事業専門員の契約条件等の件(資料1)**

高杉理事より資料1に基づき説明があり、山本代表理事より補足説明があった後、全会一致で承認可決した。

**【報告事項】第1号：2022年度事業報告(中間報告)の件(資料2、3)**

伊東理事、泉理事、八木理事、高杉理事より資料2、3に基づき報告があり、山本代表理事から補足説明があった。

**【報告事項】第2号：その他**

高杉理事より事務所移転先候補について報告があり、山本代表理事より補足説明があった。

【質問、意見及びその他報告事項等】

【議決事項 第1号について】

八木理事：仲裁調停専門員の契約更新条件なのか、新規契約の条件なのか。

高杉理事：継続、新規どちらの条件でもある。

【報告事項 第1号について】

泉理事：スポーツ庁委託事業・スポーツ仲裁制度の在り方に関する調査の有識者会議が発足したとのことだが、メンバーはすでに発表されているのか。

高杉理事：メンバーについては、ほぼ確定している。学者が中心。

藤原理事：自動応諾条項採択状況について。

J P S A、J P C加盟団体の採択率が低い。未回答の団体についても適合性審査の関係で自動応諾条項採択している団体がほとんどであると思われる。次回の調査で採択率が上がらないようであれば、J P S Aからも下部団体へ働きかけをしたい。

浅川理事：スポーツ界は世界的な状況を反映しつつ動いており、海外機関との連携は非常に重要である。ぜひこれからも継続していただきたい。

山本代表理事：仲裁事案がかなり増加してきている。地方組織との関係での案件が多くなってきている印象。

小幡理事：バドミントン関係の取消訴訟の結果について。

高杉理事：J S A Aが下した仲裁判断の取り消しを認めないとの判断が出され訴訟は終了し、日本バドミントン協会は自動応諾条項に復帰している。

【報告事項】第2号：その他

泉理事：SPORTS OLYMPIC SQUAREには、シェアオフィスもあるのでそこも検討したらよい。

なお、オンラインによる本理事会は通信システムの異常なく終了した。

以上

配布資料

資料1 スポーツ仲裁・調停等事業・専門員の契約条件等について

資料2 2022年度事業報告（中間報告）

資料3 JSAA取扱事案数

資料4 役員名簿

上記の通り相違ありません。

2023年2月1日

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理事会

議長： 山 本 和 彦 /s/

監事： 川 原 貴 /s/

監事： 辻 居 幸 一 /s/